

# 埼玉県の地球温暖化対策

## 埼玉県地球温暖化対策実行計画（第2期）

概要版

### 計画策定の背景

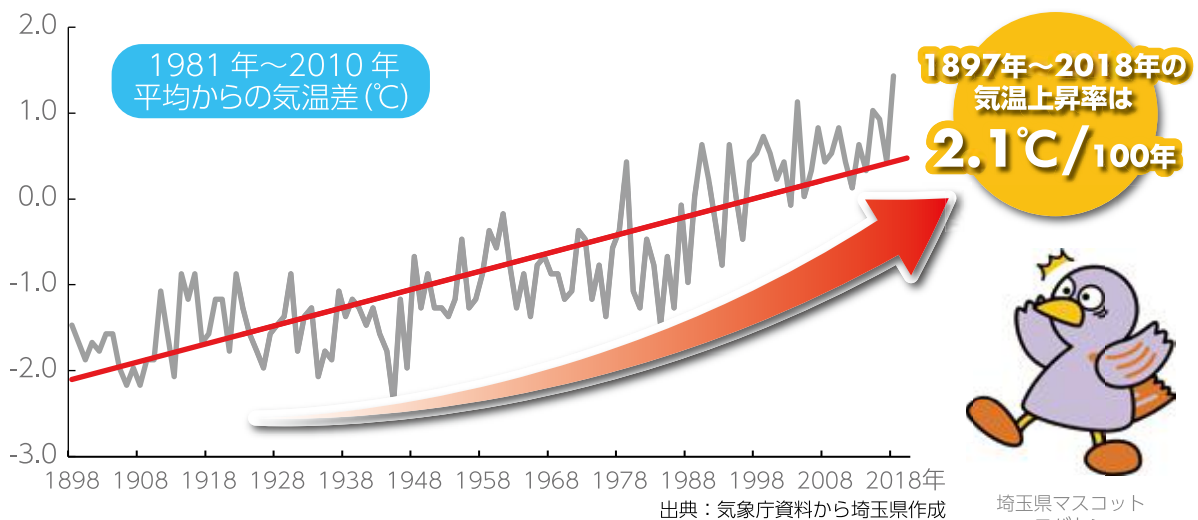
二酸化炭素など温室効果ガスの大気中濃度が上昇し、地球温暖化が進行しています。

埼玉県でも気温の上昇が続いており、強い雨が降る回数も増えています。このまま何も対策を取らずに過ごすと、今世紀末（2100年）には20世紀末に比べて最大で4.8℃平均気温が上がると予測されています。

夏の暑さは年々厳しさを増しており、熱中症患者が増加する可能性があります。また、大雨の増加により、洪水や土砂災害が増えるおそれがあります。

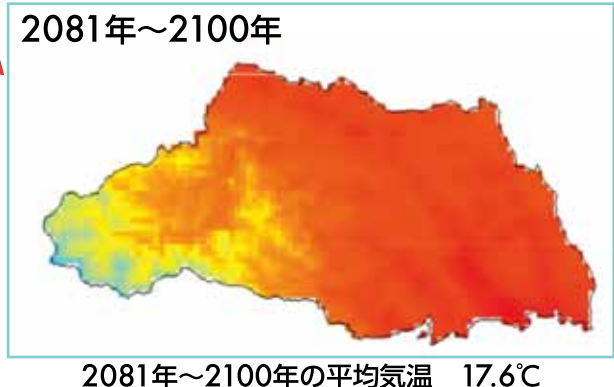
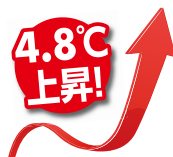
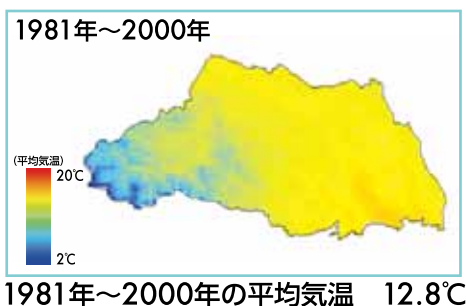
このように、地球温暖化の影響が深刻化していることを踏まえて、埼玉県における取組を更に進めていくため、「埼玉県地球温暖化対策実行計画（第2期）」を策定しました。

### 埼玉県の平均気温の推移（熊谷地方気象台）



### 将来の埼玉県の平均気温の予測

何も対策を取らずに過ごすと100年間で最大 **4.8℃** も平均気温が上昇



# 計画の概要



## 計画期間

**2020年度(令和2年度)～2030年度(令和12年度)**



2050年以降のできるだけ早期に、省エネルギーなどの推進による**脱炭素化**(温室効果ガス排出実質ゼロ)が進み**気候変動に適応した持続可能な社会の実現**を目指します。

(2013年度)

**26%**  
削減

(2030年度)

## 削減目標

2030年度における埼玉県の温室効果ガス排出量を2013年度比で**26%削減**

### 部門別温室効果ガス排出量の現状と削減見込み

(単位：万t-CO<sub>2</sub>)

部門・分野	主な排出源	2013年度 排出量	2030年度 排出見込量	
二酸化炭素	産業部門	製造業、農林水産業、鉱業、建設業の生産活動	1,043	823
	業務その他部門	事務所・ビル、商業・サービス業施設における冷暖房、照明などの利用	1,183	860
	家庭部門	家庭における空調、給湯、照明などの利用	1,213	687
	運輸部門	自動車の利用、鉄道の運行	977	686
	廃棄物	廃棄物の焼却	85	74
	工業プロセス	セメント製造などの工業生産	238	241
その他温室効果ガス	農業、エアコンや冷蔵庫の冷媒など	230	302	
合計		<b>4,969</b>	<b>3,673</b>	



### 持続可能な開発目標(SDGs)とは

SDGs (Sustainable Development Goals) は、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までを年限とする「持続可能な開発目標」です。

17の目標と169のターゲットから成り、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。



# 地球温暖化対策

本計画に掲げる温室効果ガス削減目標を達成するために、地球温暖化の緩和策に取り組みます。一方、温室効果ガスの排出削減対策を最大限行っても気温の上昇を完全に抑えることはできないと考えられているため、地球温暖化の適応策にも取り組みます。

緩和策と適応策を車の両輪として地球温暖化対策を進めます。この対策は多くのSDGs目標の達成にも関連しています。

## 緩和策 温室効果ガスの排出を削減するための対策



施策体系	主な施策	関連するSDGs目標
産業・業務部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業における省エネルギー対策の促進</li> <li>暑さ対策に資する省エネ設備等の導入支援</li> <li>目標設定型排出量取引制度の推進</li> <li>県有施設における省エネルギーの取組</li> </ul>	
家庭部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>LED照明の普及推進</li> <li>省エネ性能の高い住宅の普及促進</li> <li>ゼロエネルギー住宅（ZEH）の普及促進</li> <li>エコリフォームの普及促進</li> </ul>	
運輸部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代自動車の普及推進</li> <li>公用車への次世代自動車率先導入</li> <li>交通流対策（道路・交差点の整備）</li> </ul>	
廃棄物、その他温室効果ガス	<ul style="list-style-type: none"> <li>3Rによる廃棄物の減量化・再生利用の推進</li> <li>太陽光パネルリサイクルの推進</li> <li>プラスチックごみの発生抑制</li> <li>フロン類の排出抑制</li> </ul>	
吸収源対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な森林の整備・保全の推進</li> <li>身近な緑の創出</li> </ul>	
部門横断的対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に優しいまちづくりの推進</li> <li>太陽エネルギーなどの活用促進</li> <li>多様なエネルギー源の活用</li> <li>環境教育の推進、環境活動の促進</li> <li>脱炭素社会をリードする産業の育成</li> <li>国際協力の推進</li> </ul>	

## 適応策 地球温暖化の影響による被害を回避・軽減するための対策



主な施策	関連するSDGs目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>高温障害を軽減する栽培管理技術の開発及び普及・定着</li> <li>治水施設整備の推進、公共下水道（雨水）整備の促進</li> <li>河川の防災情報の発信や洪水ハザードマップ活用の推進</li> <li>内水ハザードマップ作成の促進</li> <li>「まちのクールオアシス」による熱中症予防</li> <li>住宅におけるヒートアイランド対策の促進</li> <li>クールシェアの推進</li> </ul>	



# 未来のために

## 一人ひとりが今、できること（家庭でできる取組）

県内で排出される温室効果ガスの約 1/4 は皆さんの家庭から排出されています。温室効果ガスを減らすためには、皆さん一人ひとりが環境に優しい生活に取り組むことが重要です。

また、温暖化への適応策にも個人でできる対策があります。  
できることから、是非取り組んでみてください。

### 1 温室効果ガスを減らす取組

#### 省エネルギー

- ▶ テレビや照明をこまめに消そう
- ▶ LED 照明や省エネ型の家電製品を使おう
- ▶ 断熱などの省エネリフォームをしよう



#### ゴミを減らす

- ▶ ご飯を残さず食べよう
- ▶ 買い物にはマイバッグを持参しよう
- ▶ 出かけるときにはマイボトルを持とう



### 2 温暖化に適応する取組

#### 熱中症予防

- ▶ こまめに水分補給しよう
- ▶ 適切にエアコンを使用しよう
- ▶ 防災アプリで熱中症予防情報を把握しよう



「まいたま防災アプリ」

#### 洪水への備え

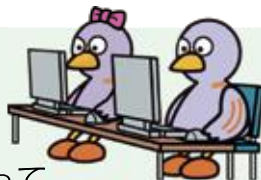
- ▶ 避難経路を確認しよう
  - ▶ ハザードマップ※を確認しよう
- ※ 洪水被害予測地図



### 3 環境に関する取組

#### 環境学習

- ▶ エコライフ DAY に参加しよう
- ▶ 環境学習施設に行ってみよう
- ▶ 環境アドバイザーと環境問題を学んでみよう



#### 環境保全活動

- ▶ 地域の環境保全活動に参加しよう
- ・川の国応援団
- ・こどもエコクラブ
- ・彩の国みどりのサポーターズクラブ など



令和 2 年 3 月

問合せ／埼玉県環境部温暖化対策課  
TEL 048-830-3037 FAX 048-830-4777

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1  
E-mail a3030-11@pref.saitama.lg.jp



埼玉県地球温暖化対策実行計画

検索

